

地域計画

策定年月日	令和7年3月4日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	南あわじ市 28224
地域名 (地域内農業集落名)	伊加利仲野 (伊加利仲野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	21.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	21.6 ha
② 田の面積	21.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.7 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	12.2 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	4.6 ha
(参考)区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	14.4 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	11.8 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域は周囲を山地に囲まれた中山間地域で、地主の営農体系はほとんど米作のみで、利用権者は米作と玉葱、白菜などの二毛作を行っている。しかし高齢化と立地条件が不利である為後継者の農家離れが進み、親戚等への貸付率が高い。近年は鳥獣害対策も負担となり新規就農者も見つけづらい現状である。よって、年々放棄田も増加傾向にある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域の持続性と課題を考慮すると、新規就農者(法人も含む)に依存せざるを得ない。特に新規就農者がこの地域で農業をしたくなるような魅力を感じる地域づくりも必須である。様々な農業支援制度を活用した新規就農者(法人も含む)が、近代化を図り高収入を追求した農業の確立を目標とすることで、他の農業者に対して生ずる波及効果により地域農業との共存が期待できる。

また、就農希望者が当該地域を選んでもらえるよう地域主導型就農・定着応援プランを作成し、地域内にある地産地消が楽しめるカフェの存在やシェアハウスの活用などについてもWEB媒体等を活用しながら発信していきたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

発展的志向を持った新規就農者や法人に積極的に農地を斡旋し、長期的な農地の活用・保全と遊休農地の縮小に努める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	1.9	%	将来の目標とする集積率	3.1	%
--------	-----	---	-------------	-----	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

仲野地区は新規就農者や法人に農地の斡旋・集約を行い、特に遊休地の解消に努める。
将来は現在の耕作者数の50%程度の集約が目標となると考えている。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
地権者と地区が一体となった持続性の高い組織の構築が急務と考えている。併せて田主の統合及び慣習等の改善を図っていく。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地域活動の中で農地情報を集積しながら、就農希望者や若手に対して情報を共有していく。併せて農地中間管理機構も活用し、より最善な農用地の活用・保全を目指していく。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場整備はほぼできているが、経年劣化による保全事業は今後も発生するため、各田主の自主性に委ねていく。地域農業の課題と省力化を解消するために、農地の保水・草刈りの省力化、畦畔の保護、イノシシ対策や就農対策として、畦畔のコンクリート整備を検討していく必要がある。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
農会が主体となって地域が情報収集と意欲的な第3者との連携をとり定期的に協議を図っていく。地域主導型就農・定着応援プランを作成し、就農希望者に対して当地域の就農者受入体制について情報発信を行い、新たな担い手の確保に努める。また、吉備国際大学生との繋がりを大切にして当地域に来てもらい、仲野地域に関心を持って貰えるような取組みを進めていきたい。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
地域農業の系体によって作業効率を向上させるためのサービスを選択して利用していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①地域による鳥獣被害対策として侵入防止柵や檻の設置、維持をしていく。
②⑨堆肥を活用して減肥料の取り組みを進める。
③現在はスマート農業の取り組みは無いものの、将来的に利用できる就農者が活用できるような環境を整備していく。
⑤長らく放棄されていた果樹園を新規就農者を受け入れて再生していく。
⑦田主(14箇所)の組織体制の強化を図る。
⑧離農した者が使っていた農業用機械や施設などの情報を地域で共有し、希望者には情報提供していく。
⑩移住者の住まいの確保としてシェアハウスがあるなど、移住者に対して地域の情報を発信していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			ha	ha		ha	ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1		野菜の定植・収穫	たまねぎ、白菜

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者	水稻・野菜	1.22 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	1	P
2	利用者	水稻・野菜	0.82 ha	ha	水稻・野菜	0.82 ha	ha	2	
3	利用者	野菜	0.22 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	3	P
4	利用者	水稻・野菜	0.71 ha	ha	水稻	0.71 ha	ha	4	
5	利用者	水稻・野菜・玉葱	0.89 ha	ha	水稻・野菜・玉葱	0.89 ha	ha	5	
6	利用者	野菜	0.46 ha	ha	野菜	0.46 ha	ha	6	
7	利用者	玉葱・ブロッコリー	0.26 ha	ha	玉葱	0.26 ha	ha	8	
8	利用者	飼料作物	0.17 ha	ha	飼料作物	0.17 ha	ha	9	
9	利用者	玉葱	0.17 ha	ha	玉葱	0.17 ha	ha	11	
10	利用者	水稻・野菜	0.33 ha	ha	水稻・野菜	0.33 ha	ha	12	
11	利用者	野菜	0.18 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	13	P
12	利用者	水稻・レタス	0.24 ha	ha	水稻・レタス	0.24 ha	ha	14	
13	利用者	水稻	0.29 ha	ha	水稻	0.29 ha	ha	15	
14	利用者	水稻・玉葱・野菜	0.92 ha	ha	水稻・玉葱	0.98 ha	ha	16	
15	利用者	玉葱	0.17 ha	ha	玉葱	0.17 ha	ha	17	
16	利用者	水稻・野菜	0.80 ha	ha	水稻・野菜	0.80 ha	ha	18	
17	利用者	玉葱	1.70 ha	ha	玉葱	1.70 ha	ha	19	
18	利用者	保全管理	0.29 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	21	
19	利用者	水稻・野菜	0.93 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	22	P
20	利用者	みかん	0.71 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	23	P
21	利用者	自家野菜	0.57 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	24	P
22	利用者	水稻・野菜	0.45 ha	ha	水稻・野菜	0.45 ha	ha	25	
23	認農	水稻・白菜	0.39 ha	ha	白菜	0.39 ha	ha	26	
24	利用者	自家野菜	0.83 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	28	
25	利用者	保全管理	0.13 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	29	P
26	利用者	水稻・野菜	0.40 ha	ha	水稻・野菜	0.40 ha	ha	30	
27	利用者	水稻・野菜	0.37 ha	ha	水稻	0.37 ha	ha	31	
28	利用者	保全管理	0.78 ha	ha	保全管理	0.78 ha	ha	32	
29	利用者	野菜	0.07 ha	ha	野菜	0.07 ha	ha	33	
30	利用者	水稻	0.58 ha	ha	水稻	0.58 ha	ha	34	
31	利用者	水稻・野菜	0.55 ha	ha	野菜・水稻	0.55 ha	ha	35	
32	利用者	保全管理	0.24 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	36	
33	利用者	保全管理	0.81 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	37	P
34	利用者	水稻・玉葱・野菜	0.64 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	38	P
35	利用者	水稻	0.88 ha	ha	水稻	0.88 ha	ha	39	
36	利用者	保全管理	0.70 ha	ha	離農	0.00 ha	ha	40	P
			ha	ha		ha	ha		
計			19.85 ha	ha		12.44 ha	ha		P=耕作者未定